

第1回自転車セミナーを開催しました！

平成22年度に、計5回「自転車セミナー」（健康・交通ルール・走行空間等）を開催いたしました。ご好評をいただいたため、引き続き、平成23年度においても、開催いたします。

第1回目のテーマは、「東日本大震災」被災地の実態 ～そこで、目にした自転車～、講師として千葉県野田市において、「あいので」という名称でボランティア支援活動を行っている、代表の新井氏にご講演いただきました。



会場の様子



新井代表

日 時：平成23年6月28日（火）18：00～19：30

場 所：自転車会館3号館11階会議室

講 師：あいので 代表者 新井 智之（千葉県野田市）

テ マ：「東日本大震災」被災地の実態 ～そこで、目にした自転車～

主な活動：2009年12月25日 『あいので』発足

<http://ainote.ramdisc.net/index.html>

2010年 1月 「海外支援体験&ボランティアセミナー」活動開始

2010年12月 クリスマスコンサートに障害者等を無料招待

2011年 3月 「東日本大震災」支援活動開始

<要旨>

新井氏は、現在も東日本大震災のボランティアを続けられており、本日もお忙しい中、宮城県の南三陸町よりこちらへお越しいただきました。「あいので」は、ボランティア活動を行っている方々と活動を支援する方々との情報交換やパートナーシップを行い、経済力・労働力・技術・芸能などをより効果的に活用できるようマネジメントしつつ、「自分よりも他の人の為になんか力になろう」という気持ちをできるだけ多くの方に持っていた

けるよう活動しているグループです。

今年3月11日に東日本大震災が発生して早3ヶ月以上が経過した現在でも、南三陸町のいたる所で瓦礫の山が存在しており、復興作業が進展していないのが実情です。

現在、支援物資は、全国各地から自治体の集積場所に多数の品目（食料品・衣料品・雑貨等）が届けられています。しかし、そこでの仕分け作業（種類・色・大きさ・用途別等への小分け）を行う人手並びに配送に関わる人が常時不足している状態で、被災者に対して支援物資がうまく行き届いていません。また、届けられる物資に偏りがあり、充足している物資は、増える一方なのに、被災者から要望のある本当に必要とされる物資がなかなか現地に届いていないのが現状です。支援物資の受け入れについても、自治体の体制が整っていないことから、企業・メーカー等の大口からの物が中心となっており、個人からの善意の物資が受け入れられてないといったトラブルも生じております。

このため、私達は、そういった個人からの物資をある程度の数量に纏まった段階で、現地に輸送する手立ての協力も行っています。実際、指定避難所には、ある程度必要量の物資が届けられる一方、指定されていない個別の避難所では、物資が届かないといった実情にあります。

私達は、そういった場所こそ、早急に物資の手配を行う必要性を感じていました。そんな中、地元の魚屋さん（南三陸町では唯一）が、自治体の手の届かない場所への配送作業を実施しているとの情報を聞き、そこでの支援活動を申し出て、現在は、この魚屋さんを中心に支援ネットワークを作り活動を行っております。当初、この活動を多くの方々に理解してもらおうと地元（千葉県野田市）の新聞に折込チラシを入れたところ、約70名の方が賛同し、ダンボールで支援物資を持参されたため、急遽、魚さんの元へ配送し、更に小分けの作業を行った後、被災者の所へ届けました。これが直接的な活動の始まりです。

現在、仮設住宅もかなり完成し、入居作業も進んでいるが、避難所にいけば物資の提供があるのに、仮設住宅に入居した場合は、ライフラインこそ整備されているが、今後の物資の提供が無くなることもあるそういった不安から、入居に躊躇する方たちがいるとの話題が広がる中、仙台放送・NHK・フジTVにおいて、魚さんの独自の活動が報道されると、全国各地からこうした方々向けの物資が提供され、多数の被災者に物資が届けられることとなり、感動と喜びの結果となりました。

町内では、インフラも徐々に整備されつつあるも、まだまだ水道設備の復旧が進展していません。同町では約3ヶ月を要して、3割程度の復旧率となりましたが、取水する地下水は、津波により海水が混じりこんでいるため、塩分濃度の高い水となっています。このため、現在も飲料水はペットボトルに依存しています。

本題である「自転車」については、震災直後から飲料水、生活用水が不足していた中、水を浄水器する装置をWEBにて検索したところ、自転車搭載型の浄水器（シクロクリーン：今回展示車）のあることを知り、この自転車の活用を検討していました。しかし、震災から1ヶ月程経過した後からは、ペットボトルの水が大量に届くようになり、必要性に

ついて変化が現れてきたため、現在のところはこの装置の利用を保留としているところ
です。

しかしながら、この飲料用のペットボトルも輸送する手段と配布する人手の少ないのが
現状で十分に届くようにするために苦勞しています。対応として、電動アシスト自転車
があれば、配布が容易になるのではないかと考えています。町内は坂道が多く、普通
の自転車ではペットボトルを積むと押してでないと運べないため時間が掛ります。
電動自転車を町民が所持していれば、輸送が楽になり大変重宝するのではないでし
ょうか。また、段々と近くに買物ができる場所も整備されつつあります。買物等
に自転車は必要であると考えています。

各地から、自転車（軽快車）も寄贈されたが、周囲が瓦礫のため、パンクが相次いだ
こともあり、震災直後はノーパンク自転車（今回展示車）でないと危険であります。

欲を言うと軽トラックがあればベストであります。しかし電動自転車であれば、坂
道の多いこの地には充分役に立つと思われ。自転車は全国から贈られて来ている
との情報はあつたが、実際街中ではあまり見かけません。

おそらく配分できずにいると思われ。自転車の数も、渡したいと思う数 6,000 台
に対して、僅か 50 台しか集まっていないのが実情で、公平に配布しようとする
自治体としては、6,000 台確保できないと配布しにくいとの思いがあり、躊躇
しているのではないでしようか。自治体を通さず配布しようと思えばすぐにでも
届けられるが、実際はなかなか出来ていない状況にあります。

現在は、一定の物資は充足しているが、本当に必要な物が届くまでには、半月
くらい掛ります。本音を言えば、今は物資より現金で支援された方が役に立つ
ことも多くなつてい。ます。

いずれにしても、この大震災から一刻も早い復旧が望まれます。少しでも結構
です、皆さんの力をぜひお貸し下さい。支援について要望等があれば、是非お
声がけください。

宜しくお願い致します。

講演終了後、質疑応答となり、以下の質問が寄せられました。

<質疑応答について>

▼サイクリング仲間と一緒に支援活動に協力したいが、ボランティアセンター
に申し出るべきか、新井さん経由が得策か。

⇒原則は、ボランティアセンターである（もちろん、我々と一緒に支援を行
うことも可）。

現地には、仮設のシャワーもあり、ホテルも無料扱いとなるため、聞いて
いただければ必要な情報は提供したい。

▼4月に気仙沼へ行き、泥の排除等を行ったが、現在の状況は。

⇒基本的には、未だ、屋根の清掃等のニーズもあります。また、仕分け・小分け等の選別作業のニーズはかなりあるため、人手は大いに必要です。数時間程度のボランティアも必要とされています。また、1回だけでなく、その後継続的に協力してもらえれば被災地の人の役に立ちます。

▼気仙沼へ自転車の提供を試みたが、自治体に断られたがということなのか。

⇒自治体は、提供されても配布方法に苦慮するため、個別の提供には難色を示していると思われます。必要としている人の実情もつかめていないため混乱してしまう。

▼首都圏では放置自転車対策に困っている。多少修理すれば使用可能なものもあるが、活用できないか。

⇒必要性はある。三陸地区では、自転車が50台ほどしかないため、みんなのニーズにこたえるためにはシェアして使うことも必要だ。自動車も自転車も少なく、高校に通学するのも不自由な状況にあるため必要性は高い。私どもであればすぐにでも必要性のある人に優先配布することも可能なのだが。

▼業界紙に携わっていますが、BS・パナソニック・ジャイアントから計1,000台の通常の自転車を寄贈しましたが、被災地のインフラ整備の状況から電動自転車は提供しても無理と思っていましたが、現状では必要とされているようです、どうなのでしょう。

⇒現在、電気はかなり復旧しており、充電することも問題が無い。したがって必要とされていると思います。

その他、闊達な意見が繰り返され、皆さん今回の震災に対してかなりの関心を持たれておりました。このHPをご覧になり、ボランティアに参加されたいと思われた方がおりましたら「あいので」を通じてぜひ参加してください。少しでも被災地の方の支援に結びつくことでしょう。最後に今回のセミナーに参加いただき有難うございました。

次回予定

<第2回>

平成23年7月21日(木) 18:00~19:30

講師：TOKYOツーキニスト管理人 内海潤氏

テーマ：「自転車運動とロープ体操と適食で、逞しく痩せる『これが男の痩せ方だ!』解説と自転車通勤のススメ」

※詳細が決まり次第、本会ホームページ等で、改めてご案内申し上げます。



[このセミナーは競輪の補助金を受けて実施いたしました。](http://ringring-keirin.jp)

<http://ringring-keirin.jp>